

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成21年度 第1回 川西市青少年センター運営委員会		
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 青少年センター 内線(4500)		
開 催 日 時		平成21年6月26日(金) 10:00~11:30		
開 催 場 所		川西市役所 4階 庁議室		
出席者	委 員	益満良一、上馬 勇、竹島 均、渡邊富夫、井上克己、中井成郷、 澁野敏彦、田村嘉規、佐伯直樹、岩木信夫、牛尾 巧		
	事務局	上中敏昭、大谷啓史、中井裕子		
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部可	傍聴者数	0人
傍聴の不可・一部 不可の場合は、その 理由				
会議次第		開会 1. 運営委員の委嘱について 2. 会長あいさつ 3. 協議事項 (1) 平成21年度 川西市青少年センター事業 (2) 平成21年度 夏季特別補導強化期間実施要領 川西市歳末青少年補導活動実施要領 4. その他 閉会		
会議結果		協議事項は(案)どおり了承		

1、運営委員の委嘱

運営委員会の冒頭に今年度新しく運営委員になられた方へ委嘱並びに辞令を青少年センター運営委員会会長の益満 良一教育長から交付された。

2、会長あいさつ

本日はご多用の中、第1回青少年センター運営委員会にお集まりいただきありがとうございます。

今回の新型インフルエンザに伴う対応についていろいろご意見をいただいています。今後、対応について検証する中で改善点などを検討していきます。

次代を担う子どもたちが、明るく健やかに育つことは、全ての大人の願いであります。しかしながら青少年を取り巻く社会環境は、必ずしも適切なものばかりとはいえ、改善を必要とする状況もあります。

近年、子どもたちの問題行動がグループ化、広域化、情報化する中で、学校・家庭・地域・関係機関そして行政が情報を共有し連携を図ることが大変重要になってきております。

本日の第1回運営委員会が実り多い協議になることを期待しております。委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

<自己紹介>

3、協議事項

<事務局説明>

(1) 平成21年度 川西市青少年センター事業について

非行防止対策

青少年の健全育成及び安全確保

青少年情報発信（広報啓発）

事例1題 『支援指導の在り方』～学校・関係機関との連携～

【質疑応答】

(会長)

協議事項(1)報告をしたが、何かあれば伺いたい。

(委員)

今年度5月に新型インフルエンザによる休校という緊急事態が発生したが昨今、個人情報保護の関係から緊急時などの連絡体制がどのようになっているのか教えていただきたい。

また、課題として個人情報の部分と子どもの命についてどう考えていけばよいか。

(委員)

学校としてはPTAと協力し対応を考えている。

(委員)

この問題についてはPTA連合会として投げかけている。学校の危機管理についてPTAがどう関わっていけばいいのか今後の課題である。

(会長)

学校だけではなく地域の連絡網についても再構築していきたいと考えている。

(委員)

連絡網については、4月初めに学校長とPTA会長の連名で文書を出し、了解を得て作成した。

(委員)

小学校では保護者に承諾書をもらい連絡網を作成している。登校班ごとの連絡網を作成し地域、コミュニティでも活用している。

(会長)

市議会においてもご質問をいただいていたが教育委員会としても「緊急連絡網」の検証をしていきたい。

(委員)

高等学校では危機管理という観点からクラスごとの連絡網については了解を得て作成している。他にもホームページを活用し情報を発信している。

ひょうご防災ネットにて登録されてる家庭には危険情報などが送信される。

(会長)

今回の新型インフルエンザの緊急時において都市間での連携はどのようになっているのか。

(事務局)

宝塚市、伊丹市などの近隣市とは青少年センター間で常時、連絡をとり補導委員にも情報提供し、連携を図っている。今回の新型インフルエンザの対応においても連絡・連携の確認を再度行った。問題となる事態はなかった。

(委員)

新型インフルエンザによる休校中は外に出歩く姿は少なかったが、この期間の刑法犯の検挙率が昨年を上回った。特に自転車盗、オートバイ盗は倍増であった。要因の一つとして、「昼間は家において、夜中は出歩く」といった生活習慣が犯罪に繋がったのではないかと思う。

今後、夜中に出歩いてオートバイを盗り乗り回すなど犯罪がエスカレートしていくのではないかと考えている。少年補導活動について、検挙した少年は身柄を確保することも検討し厳しい対応をとっていきたい。

(委員)

他の委員と同じく「新型インフルエンザによる休校」によって多くの子どもたちの生活習慣が乱れ問題行動が多くなったように思う。しかし、自転車盗、オートバイ盗についても「盗る」行為はもちろん悪いが所持する側も施錠をするなどしっかり予防して欲しい。

(委員)

今年度の補導委員会の郊外研修では姫路市の補導委員会との交流と言われたが「通学路の防犯ビデオ」設置についてどのような効果があるか調べていただきたい。

(会長)

姫路市との交流やその他の行事については「センターだより」を使って啓発並びに情報発信をしてはどうか。

(事務局)

そのような形も考え研修を深めたいと思う。

3、協議事項

〈事務局説明〉

(2) 平成21年度 夏季特別補導強化期間実施要領

川西市歳末青少年補導活動実施要領

質疑応答

(会長)

地域、学校や補導委員の皆様にはお世話になりますがよろしく申し上げます。ご意見をお願いします。

(委員)

意見ではないが保護司会主催の「社会を明るくする運動」街頭キャンペーンに關しまして皆様のご協力を得ることになりますがよろしく申し上げます。

(委員)

これから夏休みに入り納涼祭などの会場に中学生、高校生女子が浴衣や私服で来ていると年齢がわかりにくく不良行為等を見かけた時の声かけが難しい。学校、地域をあげて巡回をお願いしたい。

(委員)

PTAとして又親としては、「自分たちの子ども」なのに多くの方に迷惑をかけている。今年度PTA連合会は「親もちゃんとしよう!」「もうちょっとちゃんとしよう!」と言うキャッチフレーズで一年間やっていきたいと考えている。

具体的には小学校では「あいさつ」、中学校では「身だしなみ」、それぞれ親が責任をもっていこうと思う。

(委員)

青少年センターの概要P30の「平成20年度不審者情報統計」の状況を説明願いたい。

(事務局)

平成19年度と比較して見ると減少傾向にあり、地域、学校、保護者の安全に対する意識が高くなってきていることや動ける対応を考え他機関（警察等）との連携を行った。

今年、女子生徒が下校時に不審者らしき者に追われ通学路にあった「こどもをまもる110番のおうち」に駆け込んで危険を回避した事例があった。

(委員)

事業者としては「青少年健全育成推進の店」といったステッカーなど作成していただき健全育成のきっかけになれば何らかの協力ができるのではないかと思う。

(事務局)

地域の方々が青少年健全育成に協力いただくことは心強いことである。

しかし、協議事項1の推進事業の一つでもあげましたが、「こどもをまもる110番のおうち」の拡充、中でも今年度は事業所への協力を拡大したいと考えているのでよろしく申し上げます。

(会長)

本日は二つの議案について、それぞれの立場から貴重な意見をいただきありがとうございます。今後も青少年の健全育成、非行防止の観点からさまざまな意見をいただければ幸いです。

閉会